

卒業生代表

教育学部 学校教育教員養成課程
中学校教育コース社会科教育専修

ふし み ま ゆ こ
伏見 真由子



穏やかな陽の光が差し込み、春の訪れを感じられる今日このよき日に、私たちは岡山大学を卒業します。

本来であれば、本日、私たちは榎野学長をはじめとする諸先生方、来賓の皆さま方ご臨席のもと、家族や後輩たちの祝福を受けながら本学での学びの集大成ともいえる学位記等授与式に臨むはずでした。新型コロナウイルス感染症の広がりというやむをえない理由により式典が中止となったことは、まさに痛恨の思いです。全世界で多くの方々苦しんでいるこの未曾有の事態が、人類の叡智を結集することで一刻も早く終息することを願ってやみません。

卒業という節目を迎えた今、四年前の春、これから始まる大学生活に期待と不安でいっぱいになりながら入学式を迎えたことを、とても懐かしく思います。

私の所属した教育学部は、他者との関わりについて考えることが特に求められる学部だったように思います。教育科学や関連する専門諸科学を学び、また、さまざまな実習を経験していくにつれて、教師という職業は子どもたちだけでなく、同僚や保護者、地域住民など多くの方々との関係性の上に成り立っているということを強く感じるようになりました。

卒業研究では、経済学の分析手法を用いて、就学前教育への財政支援が将来の所得格差に及ぼす影響について研究を行いました。卒業研究を通じて教育科学および経済学、統計学など専門諸科学の最新の知見を修得するとともに、科学的根拠に基づいて教育を論じることの重要性をあらためて認識しました。研究が順調に進まず挫折そうになった時もありましたが、指導教員からの丁寧なご指導と、お互いに支え合い、励まし合える仲間が近くにいてくれたおかげで、何とか納得のいく卒業論文を書き上げることができました。私はこれまで多くのことを自分一人で解決しようとしてきましたが、分からないことを正直に聞き、周りの人を頼ることは決して悪いことではないのだと、心から思えるようになりました。

この四年間、様々な人と出会い、交流するなかで、多様な考え方や価値観に触れてきました。自分と異なる考え方を知ることによって、自分自身の考えをさらに深め、より良いものを作り出すことができることを学びました。この学びをもたらしてくれたすべての出会いは、私のこれからの人生におけるかけがえのない財産です。

晴れて今日という日を迎えることができたのは、ひとえに私たちを温かくご支援くださった方々のおかげです。未熟な私たちを優しく、時には厳しく、熱心にご指導くださった先生方、安心して学生生活を送れるように環境を整えてくださった職員の皆さま、自ら手本となり適切な助言で私たちを導いてくださった先輩方、私たちを頼りにし慕ってくれた後輩たち、苦楽を共にしながら一緒に歩んできた友人たち、そして私たちを優しく温かく見守り、心の支えであり続けてくれた大切な家族がいてくれて、ここまで来ることができまし

た。多くの方々に支えられて、今の私たちがあります。この場をお借りして、心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

今日、私たちはかけがえのない青春の日々を過ごした学び舎を後にします。これから、それぞれが選択した道へと歩き出しますが、それがどのような道であったとしても、この伝統ある岡山大学で学んだ高度な知識とさまざまな経験が、貴重な糧となってくれるでしょう。ひとりひとりが岡山大学の卒業生としての誇りを胸に、社会の誰かの支えとなることができるよう、日々精進していくことをここに誓います。

最後になりましたが、私たちの愛すべき母校、岡山大学の益々の発展を心より祈念し、答辞とさせていただきます。

令和2年3月25日

卒業生代表 教育学部 伏見真由子